令和６年（２０２４年）５月２１日
東海市記者発表資料

自主防災会を対象にした可搬式動力ポンプ取扱い訓練

～能登半島地震を教訓に取り組み強化～

平時における火災をはじめ、大規模災害時に町内会・自治会が自らの組織力で有効な消火活動が実施できるよう、町内会等に編成される自主防災会を対象に、市内３４箇所に分散配置してある可搬式動力ポンプの取扱い訓練を行います。

■日時

令和６年（２０２４年）６月１日（土）、６月２日（日）　２日間

午前１０時から午前１１時まで

■場所

東海市中央町一丁目１番地　市役所　第３駐車場　（別紙のとおり）

■参加者

コミュニティ推進地区連絡協議会及び市内全町内会等のうち希望者　２１名

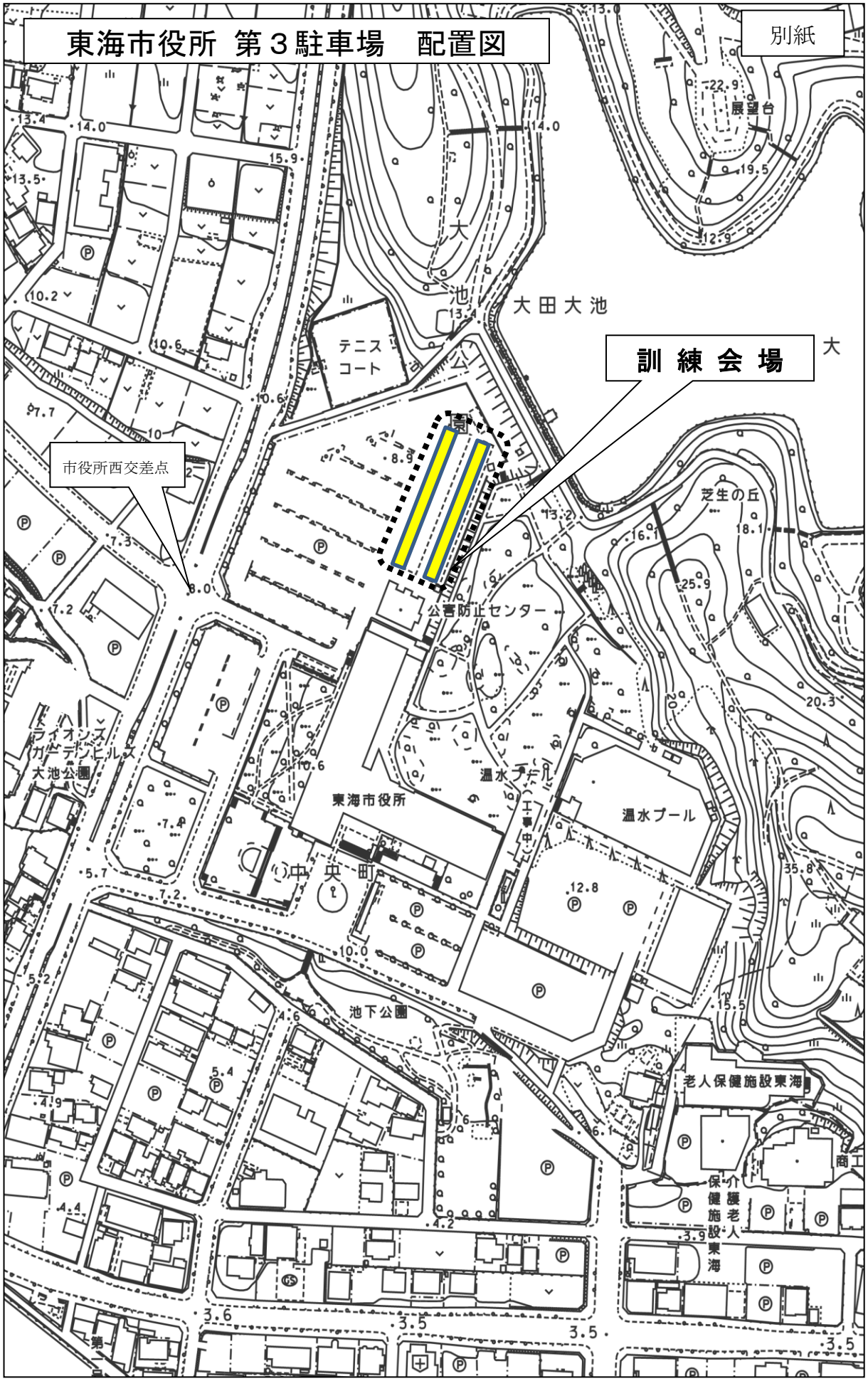
■内容

能登半島地震で発生した火災で多数の建物が被害を受けました。被害が拡大した原因のひとつとして、地震により水道管が破損し断水が発生したため、消火栓が使えなかったことが考えられます。今回は断水しても利用できる防火水槽から、市民も使用することができる可搬式動力ポンプで放水をする訓練を行います。

■写真等

可搬式動力ポンプ取扱い訓練の様子

問合せ	消防署警防課 担当：西川（にしかわ） 0562-36-0471　内線 82-70

東海市役所 第３駐車場　配置図

別紙